

## 令和6年度第2回 岡山市障害者自立支援協議会 運営会議 議事概要

日時：令和6年8月29日（木）10：00～11：30

場所：岡山ふれあいセンター 第1研修室

参加者：名簿参照

### 1. 開会あいさつ

#### 【村下会長】

今年度は制度改正が続き、働き方改革、強度行動障害、意思決定支援など様々な注目点があるが、残念ながら就労継続支援A型事業では、本人の「働きたい」ではなく、事業所の都合による閉鎖・縮小・B型への事業変更が続いている。台風も来ていますので、部会活動やフォーラムのことなどコンパクトにご報告をお願いします。

#### 【障害福祉課：橋本課長補佐】

コンパクトに有意義な活動報告をしていきましょう。

### 2. 活動報告

#### 1) 地域部会

##### ア) 東部地域【かけはし：山崎管理者】

- ・第2水曜日開催 概ね参加者20名程度。
- ・内容はグループスーパービジョン（以下、GSV）や研修をメインで実施。
  - 7月：災害時個別避難計画の勉強会を実施（講師：岡山市危機管理室 近藤主事）
- ・東区瀬戸に住倉学園がグループホーム（以下、GH）や生活介護を開所予定。
- ・グループワークでは普段の悩みの共有を実施。
  - 窓口対応：申請書署名部分の筆跡鑑定のようなことをされた。
  - 窓口対応：申請書を出しているのに未提出と言われた。
  - 支援学校のスクールバスが利用できない
  - A型問題：B型の利用になった本人のモチベーション下がっていることへのアプローチ。
  - A型問題：B型に変更になった事業所の工賃額の把握。
  - ヘルパー：事業所が見つかりにくい。
    - 移動支援は「儲けにならない」とヘルパー事業所から決まり文句で言われる。

##### イ) 中央北地域【仲よし：向所主任相談支援専門員】

- ・第3木曜日開催 参加者が増え、部屋が手狭になっている。
- ・勉強会関連
  - 第7期岡山市障害福祉計画の確認 報酬改定の勉強会

協議会全体会の報告 岡山市総合相談体制の確認

地域移行支援ワーキング（毎月）

経歴が浅い相談支援専門員を主とした情報交換会

- ・地域課題の抽出に関して

身寄りがない当事者の緊急時対応（死亡時含め）。

公共トイレにユニバーサルシート設置増設の要望。

- ・ GSV：18歳知的障害者、妹も障害があり、母の養育スキルが不安定な世帯
- ・ その他

主任相談支援専門員による特定相談支援事業所へのアウトリーチ訪問を開始予定。

#### ウ) 南西地域部会【コンドル：前田主任相談支援専門員】

- ・ 定例会：第2・4金曜日 地域移行WG：毎月 主任によるアウトリーチ訪問：毎月
- ・ 会場変更（西ふれあい→灘崎文化センター）：参加者30名を超えたため。
- ・ ケースレビュー実施の際に障害児相談のグループを作る。
- ・ 閉鎖予定の相談支援事業所情報の共有。
- ・ 研修関連

岡山市社会福祉協議会相談支援包括化室による岡山市地域共生社会推進計画の説明。

基幹センターより機能強化型相談支援事業所と主任相談支援専門員の説明

- ・ 事業所レビュー

A型問題：別のA型事業所に移行したい方への対応の共有

意向確認、実習期間の考え方、スコア表が見つからない事業所

ヘルパー：事業所都合での支援撤退後の事業所探し（責務は事業所）

相談支援専門員へ丸投げ（介護保険分野もケアマネが同様の悩みがある）。

ヘルパー不足に関して、空き情報の共有システムを要望する声がある。

介護保険：障害から介護への移行ケースがあるため、合同研修が必要か。

- ・ 主任相談支援専門員による小グループアウトリーチ訪問

GHの営業は来るが質はどうか。アセスメントが必要。事業所紹介の際に切り込んだ質問をしてはどうか。

- ・ 隣接市町の参加者からの情報（早島地域活動支援センター）

相談支援専門員4名（契約者約360名）。町内にヘルパー事業所が1か所（ヘルパーに限らず岡山市の資源を利用されている場合が多い）。

#### 2) 広報部会【ひらた旭川荘：横山センター長】

- ・ 毎月開催

- ・ えんじゃねっと関連

事業所情報：事業所へ協力依頼文を作成し9月以降に打診予定。

スマートフォンから閲覧できない時期があった。現在は復旧。

岡山市公式 LINE との連動を鑑み、使い勝手の良さなどをリサーチしていく。

岡山市ピアサポーター派遣事業の掲載を実施予定。

A 型問題：A 型から B 型に変更した事業所情報の掲載方法の検討。

B 型の工賃の掲載方法の検討。

### 3) 福祉サービス部会【岡山南障がい者相談支援センター：三宅管理者】

- ・ B 型事業所連絡会の創設関連

B 型向けグループワークフォーラム（8 月）の準備や開催、振り返りを実施。

福祉サービス部会所属法人の B 型を中心としたコアメンバーの在り方の見直し。

- ・ GH 連絡会の創設関連

岡山県 GH 連絡協議会に参加し、岡山市での連絡会の創設について意見交換。今年度の福祉サービス部会研修会では GH をテーマにするため、協力を依頼。

→令和 7 年 3 月 6 日（木） ウェルポート灘崎で開催予定

### 4) 教育部会【仲よし：川口主任相談支援専門員】

- ・ 支援学校関連行事（7・8・9 月）を実施準備。

・ 在学中生徒の B 型利用に関する就労アセスメントの取り扱いについて共有。

・ B 型事業所連絡会コアメンバーが参加：利用者募集もあり支援学校とのつながりを要望。

・ コーディネーターだけでなく進路指導も参加してもよいか。

・ 公立小中学校での保育所等訪問支援の理解および受け入れが、学校によって差異がある。通常学級在籍児になると担任の理解度も低く、さらに受け入れは悪い。

・ 在学生徒対象の福祉サービスの説明として、フクセツ児童版（放課後デイサービスや移動支援の活用方法等）の作成に着手。

### 5) 就労支援部会【障害福祉課：橋本課長補佐】

- ・ 毎月第 3 木曜日開催。

・ 課題の抽出では、就労継続支援 A 型への話題が多い。給料未払いのまま閉鎖した事案（労基署に相談して解決済）、B 型事業所へ事業転換している事業所が利用者へ工賃と失業給付説明ができていないか、ホームページ等でスコア表が見当たらない等の話題を協議。特に退職され失業給付受給中の方が、給付の切れる頃に再度仕事の相談が増えるのではないかと予想される。事業所都合による移行先の支援は、在籍していた A 型事業所が対応することが原則であることの再確認をした。

- ・ 今年度 GW を実施（就労選択支援グループ／触法障害者グループ）

・ 触法障害者関連では、岡山県地域生活定着支援センターの取組について勉強会（参加者：29 名）

・セミナー開催

9月28日(土) 西川原プラザ「働くヒントがここにある」

6) 精神保健福祉部会【健康づくり課：宮内主事】

・今年度はメンバーが大幅変更。会場を慈圭病院と山陽病院で実施。

・8050問題のヒアリング内容のフィードバックについて検討。地域包括支援センターへの説明方法を確認(センター長会議での説明機会の打診)。

・研修：医療と福祉の連携の考える会

12月12日(木) 保健福祉会館9階 機能回復訓練室で開催予定。

7) 相談支援部会【障害福祉課：栗尾係長】

・毎月第3水曜日開催。

・報酬改定のポイントを協議。

・計画相談支援マニュアルの変更(セルフプラン、モニタリングの取り扱いの明確化等)。

・計画相談研修会

9月17日「教育支援計画と障害児支援利用計画との連動」

8) こども支援部会【わかくさ学園いちご：杉本園長】

研修会

・5月：相談支援専門員とつながろう(地域別および障害別でのGW)

・7月：報酬改定の説明

・9月：5領域を含めた個別支援計画の作成～事例から学ぶ～(開催予定)

9) 医療的ケア児WG【基幹相談支援センター：藪内主任相談支援専門員】

・7月9日ワーキング会議を実施

・参加者：29名(行政：3局9課、協議会：3部会、オブザーバー：医師、看護師)

・災害時避難行動支援計画の協議(パーソナルプラン：24時間人工呼吸器装着者用の避難計画の確認)

・医療的ケア児者が利用できる事業所および医療的ケア児コーディネーター研修を受講した相談支援専門員の見える化が必要

10) その他

・基幹相談支援センターによる「岡山県特別支援教育研究会進路指導部会」で就労支援関連の報酬改定等を説明。進路を考える際、A型の閉鎖などの予期せぬ進路変更を迎えたくない等の声がある。スコア表の見方や就労選択支援導入の行方などを教育現場と共有。

### 3. 行政機関より

- ・報告事項なし。

### 4. 協議事項・情報提供

#### 1) R6 年度フォーラムについて

- ・開催日時：1月25日（土）13時～17時
- ・場所：西大寺百花プラザ
- ・テーマ 合理的配慮について
- ・講師・シンポジウム助言者：放送大学教授 川嶋聡先生
- ・事前アンケートを企業や事業所に実施
- ・実行委員メンバー：地域部会、障害福祉課、健康づくり課、基幹センター

質問：フォーラムの周知方法はいかがか？【宮内副会長】

- ・チラシを配布用意（公共施設、公民館、企業等で配布）。
- ・当事者団体を通じての周知も依頼したいと考えている。

#### 2) R6 年度地域移行研修について

- ・開催日時：11月28日（木）13時30分～
- ・場所：ウエルポート灘崎
- ・テーマ：地域定着
- ・講師：ACT-ひふみ（大阪府吹田市）精神科認定看護師 加藤由香先生
- ・企画者：基幹センター、こころの健康センター
- ・協力機関：精神科医療センター・林病院・慈圭病院（認定看護師の皆様）
- ・訪問看護ステーションや地域移行に関与する福祉サービス事業所にも周知予定。

#### 3) 岡山県精神科医療センターよりえんじゃねっとのリンク要請【広報部会：横山氏】

- ・運営会議で承認する。
- ・以前、教育部会内で特別支援学校 HP にも掲載したいとの声があった。今後要請があれば整理をして協議をする。

#### 4) 岡山市教育委員会 新任特別支援学級担当教員研修報告

【基幹相談支援センター：平松副センター長】

- ・8月9日 岡山ふれあいセンター大ホールにて 参加者：150名
- ・教育と福祉の連携について講話・・・保育所等訪問支援や相談支援専門員について話題提供を実施。

～関連して～

・9月2日(月)に岡山市幼保運営課を通じて、幼稚園保育園の園長会にて保育所等訪問支援事業などについて説明予定。説明者：わかくさ学園いちご杉本園長。

#### 5) 就労継続支援 A 型問題に関して

・A型からB型に事業変更した事業所に関しての現状共有。

例) 退職した方へのアフターフォローはできているか。

A型の時と同じ仕事内容だが、工賃が著しく低い事業所がある。

・A型事業実施時の訓練等給付費の扱いについて行政からの指摘もあっても良いのではないかな。

・相談支援専門員の声～ある担当ケースから～

事業所都合でA型からB型の事業変更を伝えられた方。「A型で働きたい」との意向があり、他の事業所を相談支援専門員と一緒に探す。求人を出していないが受け入れしてもらえA型があり、雇用に結びついた。

在籍していたA型に就職が決まったと報告をした際、「この人A型の人ではないでしょう。うち(B型)の人でしょう」と元A型事業所のサービス管理責任者が発言した。

【基幹相談支援センター：村上センター長】

・事業所都合でA型を退職し、自宅で過ごされている方はどのような思いで現在過ごしているのだろうか。A型事業所の責務とは何か。現状はほぼ野放しとも見える。事業所の基本姿勢はどうか。皆様方の報告から推測ではあるが、当事者の方がさげすまされていることが見え隠れする。かつて倉敷市でのA型問題があった際、岡山市の利用者に関しては後追い調査をした。岡山市内の利用者数が少なかったので丁寧にできたが、今回1つの会社で40名という報告もうけた。その後の実態もつかめない。失業給付が切れる頃に話が顕在化するだろう。事前に実態調査をする必要があるのではないかと感じる。

#### 6) 医療的ケア児者支援の日

・9月18日に岡山城をライトアップ(パウダーブルー)

・令和3年9月18日に医療的ケア児支援法が制定。

・岡山大学鷲尾医師、岡山市保健所中村医師のご尽力により実施へ至る。

#### 5. 閉会あいさつ

【宮本副会長】【中山副会長】

本日は台風の中ありがとうございます。今後も障害がある方が安心して日常生活がおくれるよう応援してください。

#### 6. 次回運営会議：10月31日(木) 10:00～ 場所は未定